2026/11/4

2026 年度新入社員　拠点実習

企業研究をされている皆さまへ向けて、2026 年度新入社員の入社後の様子をご紹介いたします。
今回は、2026 年 4 月に入社した新入社員たちの様子をご紹介いたします。
入社から早くも半年が過ぎ、秋の深まりとともに彼らの顔つきもすっかり社会人として頼もしくなってきました。
新入社員たちは、各物流拠点で研修を続けており、これまでの半年間は現場作業を中心に物流業務の基礎を習得してきました。現在は各部署の役割や拠点運営の仕組み、マネジメントについて学んでいます。物流を「作業」だけでなく「運営」の視点から捉えることで、将来の中核人材として必要な知識と視野を広げています。
物流拠点は、お客様へ商品を確実にお届けするための「心臓部」とも言える重要な役割を担っています。今回は、実際に拠点実習に取り組む新入社員たちの様子と、この半年間でのリアルな成長エピソードをご紹介します。
主な実習内容は以下のものになります。

バラピッキング業務

お客様からの注文に応じて、商品を 1 本単位で正確に取り揃える業務です。 膨大な種類の商品を扱うため、商品知識だけでなく「スピードと正確性の両立」が求められます。
実習当初は、似たパッケージの商品に戸惑い、ピッキングに時間がかかってしまう新入社員もいました。しかし、現場の先輩社員からの「最初は誰もが通る道だから、まずは正確さを大切にしよう」という温かいフォローや的確なアドバイスを受け、今では焦ることなく、一つひとつの手順を正確かつスピーディーに実践できるまでに成長しています。失敗を恐れず挑戦できる環境が、彼らの背中を強く押しています。

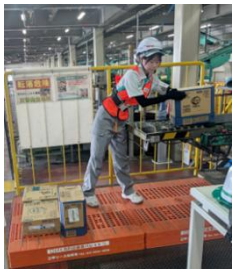




ケースピッキング業務

段ボール単位でまとまった数の商品を出荷する業務です。 効率的な出荷作業の手順やスケジュールを計画的に組み立てながら進めるため、物流全体の流れを俯瞰する力が身につきます。
同期同士でも「荷物の積み方はとても綺麗で、後工程の人が作業しやすそう」「自分ももっと手際よく進めたい」といった声が上がっており、互いに良い刺激を与え合いながら切磋琢磨する姿が見受けられます。





配送研修

物流業務はセンター内の作業だけでは完結しません。商品がどのようにお客様のもとへ届くのか、その「最後のバトン」を学ぶため、配送研修にも参加しています。

実際に配送担当者のトラックに同乗し、納品時の丁寧な対応や安全運転への高い意識、そしてお客様とのコミュニケーションの重要性を現場で学びました。「自分たちがセンターで準備した商品が、お客様の手に渡り感謝される瞬間を目の当たりにして、仕事の責任とやりがいを強く感じた」と語る新入社員も多く、サービス品質を根本から支える現場の努力について理解を深める貴重な機会となっています。





今回ご紹介した拠点実習は、新入社員が当社の事業を理解し、社会人として成長するための重要な機会となっています。今後は、マネジメント業務に向けてさらに経験を積み、それぞれの部署で活躍していくことが期待されています。

当社では、現場での経験を通じて物流の基礎からマネジメントまで学べる研修制度を整えています。物流業界に興味のある方は、ぜひ採用ページもご覧ください。

（人財開発部門）